

第4回
(仮称)北統合中学校
学校再編代表者会議
議事録

日 時：令和8年5月20日（水）
場 所：旭市役所 1階市民ホール

第4回 (仮称)北統合中学校 学校再編代表者会議

日 時 令和8年5月20日 (水) 午後6時30分

場 所 旭市役所 1階市民ホール

議事日程

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 前回議事について
- 4 議 題
 - (1) 議案第5号 今後の方向性について (諮問)
- 5 その他
- 6 閉 会

出席委員 (19名)

保護者代表

第二中PTA	諸持 典明	第二中PTA	大林 哲也
干潟中PTA	高安 忠廣	干潟中PTA	高木 真弘

地域住民代表

江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦	新町仲町区区長	浪川 正彦
中11区区長	菅谷 圭一郎	西18区区長	越川 雅昭

学校教育関係者

第二中校長	酒井 誠一	干潟中校長	溝口 洋樹
-------	-------	-------	-------

福祉関係者・青少年育成関係者

主任児童委員	金谷 茂	青少年相談員	石井 和芳
--------	------	--------	-------

その他教育委員会が必要と認める者

共 和 小	廣岡 美穂	共 和 小	高埜 真奈未
保 護 者		保 護 者	
池の端保育所	宮内 大知	共和保育所	高安 めぐみ
保 護 者		保 護 者	
萬 歳 小	井上 真実	干潟町中央保育園	高木 奈保子
保 護 者		保 護 者	

干 潟 中
学校運営協議会委員

花香 武見

欠席委員（5名）

第二中PTA

井ノ上 直人

干潟中PTA

鏑木 正彦

青少年相談員

宮野 智

民生委員

大湊 一文

中 和 小
保 護 者

藤崎 理佐

事務局職員出席者

教 育 長

向後 依明

教育総務課長

飯島 正寛

教 育 総 務 課 長
教 副 課 長

八馬 裕樹

施 設 班
班 設 長

石毛 厚史

学 校 再 編 室 査
主 査

林 義樹

学 校 再 編 室 査
主 査

椎名 倫史

学 校 再 編 室

加瀬 政吉

傍聴者 4名

1 開 会

○事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、これより（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

なお、本日の審議会は、「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により公開するものとなっております。傍聴人の皆さまにお願いいたします。本日の会議は受付でお渡ししました傍聴要領に記載のとおり、会場での写真撮影、録画、録音等を行わないようご注意ください。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りになるかマナーモードに設定していただくようお願いいたします。

2 委嘱書交付

○事務局 それでは次第の2、委嘱書交付について、今年度より新たに委員となられた方に委嘱書をお渡しいたします。その場でお待ちください。

（委嘱書交付）

3 前回議事について

○事務局 続いて、次第の3、前回議事について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局 （資料説明）

○事務局 ただいまの説明に対して、ご質問等がありましたらお願いします。

（発言する人なし）

○事務局 それでは続いて次第の4、議事に移ります。これ以降の議事につきましては、旭市学校再編代表者会議条例第7条の規定により、会長が議長となります。本日は井ノ上会長が欠席ですので、高安副会長よろしくお願いします。

4 議 題

（1）議案第5号 今後の方向性について（諮問）

○副会長 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

議案第5号今後の方向性について、初めに事務局より説明をお願いします。

○事務局 （資料説明）

○副会長 事務局の説明は終わりました。ただいまの説明に対して、何か質問等がある方は挙手をお願いします。

○委員 今回新しくこのパターンの提案ということで、新たな段階に入ったということで理

解しておりますが、前回までの様々な議論の中で、私申し上げたような気もするんですが、一中と二中を両方使ってというようなお話をした記憶がございます。そういった案がこちらには提案されていないということで、この4案でってということで話が始まる前に最初に言わせていただきましたんですけども。

B案っていうのは、これは今までやってきたものと学校の位置が変わるだけで何ら変わらないわけで、現在地に建て替えという話もありましたんで、そういったものを踏まえてということだと思うんですけども、B案については提案されるべきものなのかどうか、私としては疑わしい気がいたします。

一中を使って、二中を使って、海上中を使っての3校っていうのが何も建てなくていい、人数も足りる、どのぐらい余っちゃうのかちょっと私も精査してないですけども、現実的には何もしなくてよくて間に合うっていう形になるんじゃないかというふうに、最初から理解しております。この会議の前段であった会議の中でも、中央小の方、他地区の話をこの場で私ができるのかできないのかというのは置いておいて、中央小の方が一中に行ってもらえっていう話は何回もさせてもらってると思うんですね。誰がどう考えても人数だけドライに話をしたら、中央小の方になるべく一中に行ってもらって、干潟中の方は希望で二中でも海上中でも、バスを出してもらえれば行けるわけで、その後でまた2校に絞るとか、もうちょっと現実的に話を進めたほうがいいんじゃないかなっていうふうにすごく感じるんです。

これが悪いというわけじゃないですよ。これ私の個人的な意見なんで。ただそういった一中を活用っていう話は私以外の委員さんもちらほらされてたというふうに記憶してますので、このパターンの中に出てこないというのはちょっとどうなのかなっていう気がしたので、最初にちょっと質問させていただきました。

○事務局　まず今回4パターンを用意させていただきましたが、事務局のほうから少し説明が足りなかったと思いますが、これ以外も皆さん方からご意見をいただければ、またそれを踏まえて資料提供をさせていただくことを想定していますので、今言った委員の資料も揃えて、また次回以降で意見をいただけたらなというふうに考えてます。

○副会長　委員の意見もあったように、方向性を決めるという会議ですので、今回は全員に1回ずつ話してもらおうかなとは思っています。その前に資料で出していただいた3校と2校っていうのがあるんですけども、その件については何かありますか。

○委員　2校とか3校とかあったんですけども、現状把握しているのが、一中学区の新入生の人数が、どちらの学校も今現状1桁っていうのは知っていて、確か矢指が5名と、富浦

が8名っていうところで、普通に上がっていくと、中央小の新入生がどれぐらい一中に流れるかわからないですけども、単純に矢指と富浦が上がっていくと、その段階で12名というような状況になってしまうのかなって思ってます。今、干潟地区のほうが新生どれぐらい入ってるのかわからなくてあれなんですけれども、多分琴田と共和は現状トータルで50名以上多分いるのかなとは把握しているんですけども、そう考えると、やっぱりその学年を考えても、2校にしたほうがいいのかと思ってしまう。その新生どれぐらいいるのかなっていうのはちょっと聞きたかったです。

○事務局 干潟地域の新生ですが、中和小が8名、萬歳小が4名、古城小が12名で、3小学校のトータルで24名というような数字になっています。

○副会長 ほかに何かありますか。

○委員 生徒数が大分減っているっていうのはすごい感じています。それで今の段階で干潟中が134名、1年生が1クラスで、あとは2クラスっていうことを聞いています。将来的な部分を見ると、やっぱり2校になるときは来るのかなっていうのは感じています。ただ、ちょっと時期がまだ早いような気持ちを感じてるところです。

一気にやるのか、それとも例えば最初に一中と二中を第一段階としてくっつけて、そのあと何年後かにこういうふうにするとか、多分もうちょっと柔軟な考え方も必要だと思いますし、あとは基本的にはもう統合した段階でバスは必須っていう考えをまず共有するとか、そういうところも必要なのかなと思っています。

いくつかパターンを示していただいたんですけど、先ほど事務局の方も言っただけで、これだけじゃなくていろんな意見をというお話があって、例えば1つ目の案なんかは、干潟小学校だけ上のほうに持っていったりとか、いろんな組み合わせがまだ考えられるものがあるのかなっていうふうに感じました。

今5校ある中学校が一気に2校っていうのは、ちょっと寂しい感じと、あとはこの先の何年でどうなるっていうところを、もうちょっと詳細に見ていってもいいのかなっていうふうに感じています。

○委員 一中の生徒数の推移のデータと、校舎の耐用年数のデータが知りたいんですけどもお願いします。

○事務局 一中の生徒数の推計ですが、2025年には154名ですが、2030年には158名、10年後の2036年に89名という形で、徐々に減っているという状況です。

○事務局 教室棟に関しては昭和54年の建築で、耐用年数2055年までという形になっており

ますので、管理教室棟についても大体それぐらいの時期で昭和55年の建築になっております。柔剣道場に関しては2060年頃まで、体育館については比較的新しく平成22年に建築しておりますので、2060年で50年になりますので2080年頃までは可能かなと。部室棟が平成5年に建っておりますので、部室棟は現在あんまり活用してないという話も聞いてるんですけども、今後の学校再編だったりとか、あと部活動の関係でこの建物を活用していくかどうかという形にはなっておりますが、プールに関しては現在中学校は使っていないんですけども、実際昭和46年の建物ですので、こちらはかなり古いものになりますので、おそらくいつかは解体していくような形になると思います。

○委員 溝口校長先生にちょっとお聞きしたいんですけど、前にスクールバスを活用していた学校にいたことがあるって聞いたんですけど、そのメリットデメリットじゃないですけど、もう一回ちょっとそれを教えてもらってもいいですか。スクールバスのいいところと悪いところとか、何か感じたことっていうんですかね。あとスクールバスって維持費とかって掛かるんですか、集金とかってあるんですか。

○委員 銚子のほうは旧五中のところに新しく西中が建ったんですけども、七中、六中の人たちがスクールバスを利用して来てます。安全に送り届けてもらうっていう面では非常にいいところ。あとJRを使う子もいるんですけども、それは希望制でっていうことで。ただ2年間いて一番感じたことは、そのバスも希望するところで降ろしてはもらえないので、みんなの希望通りに止まっていたら進みませんので、ある程度バス停があって、そこで乗り降りするというので、もしかしたらバス停から遠い子の中にはいるんじゃないかなっていうのはあります。だから何かスクールバスっていうと、自分の家の前から乗せてもらえるような印象があるかもしれませんが、意外とバス停は限られていて、そこに行くっていうような感じでやりました。

あと、いろいろ学校運営上は、どうしてもバスの時間は決まっていますので、例えば何か今日ちょっと残して何かやりたいなと思ってもバスの出発時間が決まっていますので、いろいろ何か自由は効かなくなるっていうんですかね学校運営上、必ずその時間に帰さなくちゃいけない。朝もバスの時間を考えると、ちょっと始まりが遅くなったりとか、そういうようなこともやってましたけども、だから遠い子にとっては確実に運んでくれるっていう面ではとても良いと思うんですけども、ちょっと学校運営上はなんか融通が利かないっていうんすかね、その辺りはちょっといろいろな教育課程を組むのにもすごく苦労してました。

○委員 寝坊しちゃったりとか、バスに乗り遅れちゃったら、親が送っていく感じなんです

かね。

○委員　そうですね。

○事務局　スクールバスの費用の関係ですが、前回の会議の資料にもありますが、大体年間1台当たり1,000万円ぐらいの運営費用となります。そこに対して、統合に係るバスの運行とかでしたら国からの補助金が5年間、半分くらい来たりとかありますが、期間限定なので、市の負担としては年間1台1,000万円ぐらいを想定しております。

○副会長　スクールバスって、部活の子なんかは融通が利かないっていうことなんですかね。部活の終わり、最終下校が決められちゃうから、朝練とかもできなくなるとか、そういう弊害はあるんですか。

○委員　帰りは、7月までは3年生が部活をやってますので、2学期になると今度3年生は部活がなくなるんで、今までだとその子たちはバスが使えない状況なんですね。それをお願いして、部活がない子の便が一便出て、それがみんな送り届けて戻ってきたら、今度部活が終わった子が帰るっていうような、そういうふうをお願いしたんですが、それにはまたお金がかかるということで、例えば費用の面は市のほうで出してもらおうっていうやりとりはありました。

○委員　ちょっと他の学区のことで恐縮なんですが、海上中に今度飯岡中が統合されるじゃないですか。そこが例えば統合するってなったら、そこもきっとバスの話って出てくるのかなと思っているんですよ。前回は前々回もお話があったように、今気候変動がすごくて、夏は暑いし、今でもすごい暑いですけど、そんな中で30分、40分自転車を漕がせて子供たちを通わせるっていうことが、親としてはとても心配です。歩いていけるところの子たちは歩いていったりするしかないのかなとは思いますが、半径6キロ以内とかになるとみんな自転車でやってくださいねって、言うのは簡単だけど、実際の親目線で言うととても心配なので、皆さんおっしゃってるようにバスはお金がかかる、時間が合わない、いろいろ問題はあるかとは思いますが、それはやってみて、基本的にはバスは必須だと私は思ってます。

その上でなんですけど、さっき3校にするか2校にするかって話があった中で、一番下の海上中を活用っていうのがあるじゃないですか。そこに古城地域から遠くなるっていうのが一番右下の括弧書きに書いてあって、私グーグルマップで調べたんですけど、古城から海上中まで車で16分なんです。道も広域農道から行ける道が新しくできてるっていうのもあるので、そこも踏まえて16分。逆に萬歳小学校から旭二中まで車で行ったら14分なんです。

あんまり変わらないっていうところがあったので、スクールバスを使うっていうことを前提に置いた話にはなっちゃうんですけど、今後の人の変動とかを見たときに2パターンあるかなと思っていて、まず1つ目が、このDの海上中を活用っていうので、干潟の子たちが海上中にバスを使って行く。それで二中と一中がそのまま残り、二中学区に、干潟、豊畑、共和、琴田。それで中央小と矢指・富浦が一中に行くっていうのがいいんじゃないかなと。今後一中の子たちが少なくなってきて、一中での運営が難しくなったら、その子たちが二中に入ってくるっていうような段階を踏んだやり方。最初は3校で始めて、後から2校にするとかっていう形もとれるのかなと。そうすれば新設はしなくてもいいし、新設をするところで予算を組んであったものがバスに使えるし、親も安心だし、いいかなというふうに思いました。

○委員　今見ていて2校の案がいいと思うんですけど、例えば、私たち5校、とりあえず二中に行くか、海上中に行くか、選択制っていうのもありなのかなって考え始めてまして、そうすればこの5校が全部例えば二中に行きますって、やっぱりちょっと人数がまだ多い。かといって、干潟中学校の方々全部って言うと、ちょっと負担が大きくなるのかなって思ったので、選択制にするっていうのもあるのかなっていうふうに今ちょっと考えてます。

中央小に一中のところに行ってもらってという案も出ていて、またそれもスムーズでいいと思うんですけど、ただ二中って場所が中央小学区の中にあって、中央小ってやっぱり人数が多くて、結構反対が起きるんじゃないかって思うんです。

海上中が例えば飯岡中と合併することになったとして、どのぐらいあと教室数に余裕があるものなんでしょうか。もう全然余裕がないとか、そういう状態なんでしょうか。

○事務局　生徒数は今546人なので、単純に35人で割ると大体16教室です。海上中が普通教室で使える数が14教室になりますので、普通教室だけで2つ足りなくなってしまうというところなんです。2036年の数で349を35で割ると、大体10教室になりますので4教室ぐらい空いてくる。ただ特別支援学級が、干潟中が3、海上中も3になってるので、その支援学級を考えますと若干足りるのかどうかっていう、ちょっと微妙なラインなのかなというところであります。

○委員　他地区の進捗状況、前回もちょっとお願いしたつもりではあったんですが、今皆さんのお話はどれもこれも他地区の話について言及していると思うんですけども、その辺りの進捗状況とか、取り組み状況っていうんですか、全くこういった会議をやってないとか、何かしてるとか、そういったこともある程度ご説明いただいた上でこういった話をした方がよろしいのかなというふうに感じましたので、ちょっとその辺ご案内いただけるといいのかな

と思います。

我々の今までやってきたやつも、地区の回覧ってその該当地区しかいかないんじゃないかなと思うんです。ですから、我々は逆に他地区のことを全く知らない中でこういった話をしてるんで、ぜひその辺もお知らせいただきながらっていうほうが、スムーズに進むんじゃないかなと思いましたので、よろしく願いいたします。

○事務局 南統合中学校、これはこの北統合中学校の進捗状況によってスケジュール調整をさせていただきながら、統合の時期を調整したいなというふうに考えております。ですので、南統合中学校はこれからということになります。それと、東統合中学校、これは生徒数とアンケート結果を踏まえてということで、今の予定ですと令和10年度以降にこのような形で会議を設置したいなというふうに想定しております。

○副会長 それでは、お時間もありますので、順番に意見を伺いたいと思います。

○委員 私の意見ということで、この中ではD案がいいかなと思ってます。3校か2校かって話で、やっぱりおっしゃったようにまた統合の話がすぐ出ちゃうと思うので2校かなというところですか。あとこのB案だと旧旭市と合併前の3町と分かれるって話で、二中活用のC案だと結局人数バランスを取るってところが全くできなくなっちゃうのもあるのかなと。海上中のキャパが2室足りないって話もありましたけど、教室が空くタイミングでもいいのかなとはちょっと思っています。

今干潟中が困っている状態で、生徒数が少なすぎるんで、なんか生徒数によって先生の割り当てがあるそうで、もう習う教科の先生が足りないっていう状態が発生しているので、はっきり言ってそういう部分では急務なんで、元々の原案の統合もこんなに時間かかるんだったらっていう話で反対の方もいたと思うんで、だからこれどの案も全部時間かかるんですけど、すぐできる案でやっていかないといけないのかなと個人的には思いました。

○委員 私はここに来る前はA案で考えていて、将来的に2校になっても対応できるようにするのもありだし、ちょこちょこ改修するなら一気に新しく建てたほうがいいのではないかなと思っています。あと前回どなたかが出してくれた、1回二中に行って、その間に新築を建てて、二中と一中がその新築の校舎に行くのはどうかっていうのもいいなとも思いましたし、今日のお話を聞いていて、できるなら建てないで、お金をかけないで今の校舎でいけるなら、そっちのほうがいいのかなとも思ったり、ちょっとまだいろいろ迷ってます。

○委員 土地勘があまりないので、ちょっと何とも言えないんですけど、私はA案がいいのかなと思います。

○委員 さっきも言いましたが選択制、それこそ干潟中も人数が足りなくて、できるだけ早くって意見もあるので、それが一番スムーズに進むのかなと思っています。

○委員 自分もさっきいろいろ言わせていただいたんですけども、やはり最終的には人数を考えるとどうしても2校になってしまうのかなとは思っています。やはりどうしてもお金がかかることなので、できる限り抑えたいっていうか、抑えたほうがいいんじゃないかなと思います。結局建てて、新しいのは嬉しいんですけど、そのお金を払っていくのは自分たちであったり、あとは学んでいってその後生活していく子供たちが結局払っていかなければいけないものになるので、だったらできる限り初期費用を抑えて、使えるだけ使って、状況が良くなったときに建て替えるっていうのがいいのかなと思うので、CかDの活用案が今のところはいいのかなとは思っております。

○委員 私も特定地域選択制っていうのを取り入れたほうがいいんじゃないかって思っていて、あとスクールバスはやっぱり必須で考えていかないといけないという考えです。中学校の数で言ったらやっぱりもう最初から2校にしてしまったほうが、3校になってその後2校になる未来が見えてるので、そうすると保護者の方にまた統合かって、この会議をまたやるのかってなると、かなり時間を要すると思うので、最初から2校のほうがいいんじゃないかなって思っています。

○委員 私も先ほど申し上げた通りになるんですが、AでもBでもCでもDでもなく、まずはDの干潟と海上と飯岡を一緒にし、二中に干潟、豊畑、共和、琴田が行き、一中に中央と矢指と富浦が行き、3校で始めて、今ある場所を使って、まずはそこからスタートし、いずれ人数が少なくなったら、一中の子たちが二中に吸収されると。最終的には2校になるというような形が一番早くて、お金がかからなくて、バスにもお金が割けるといところでいいのかなと思っています。

○委員 本当に申しわけないんですけど、前回の結果を受けて、皆さんまた別の視点かなってということで、盛り上がってきたところですごい水を差す話になってしまうのは重々承知してるんですけども、私としては新設っていうところをなかなか捨てきれないっていうのはあります。

というのも、前回の会議のときに3分の2の了承を得られなかったということになりましたけども、会長からその後に新設に賛成の方っていうところで聞いていただいたときに、私も数えたわけじゃないんでわからないんですけど、手を挙げた方が若干増えた気がするんですよ。それを考えて、私もその時ちょっと違和感を感じたんですけど、それをうまく言葉

にできないまま前回のやつが終わっちゃったんですけども。まだその新設っていう可能性を捨てきれないっていうのが正直なところですよ。

ちょっと長くなっちゃうかもしれないですけど、まず最初に、スクールバスっていうところの話が挙がってますけど、私としてはそれに関してはちょっと慎重派です。出すとしても、2から3台。どれが適当なのかわかんないですけど、正直スクールバスって結構制限もあるんで、いろんなところをぐるっと回って戻ってくるわけにもいかない、学校の時間とかもありますんで、そういうのを考えると一定のところ、2、3ヶ所のところに集まってもらって、それをバスで迎えに行き戻ってくるっていうようなところが、出すとしてもそれが一番最適なのかな。正直これは考え方古いねって言われるかもしれないんですけど、やっぱり自転車とかですね、子供たちが成長していく過程で、五感でいろんなものを感じながら、あと苦勞を知らながらやってくっていうのも、1つ大切なことなのかなと私自身思ってますんで、スクールバスに関してはちょっと慎重派です。

あと、一番ちょっと心配してるのは、新築っていうのを前提に話を進めさせてもらっちゃうんですけど、建築費のことについてなんですけど、今すごいもう世界的に建築費って上がってますよね。私も素人ながらちょっとネットとかで調べてみると、もうここ10年ぐらいはすごいもう崖ですかっていうぐらい、すごい勢いで建築費は上がってます。新築してもいいんじゃないのかっていう意見がそこそこあった中で、逆にそれを今建てないでどうするんだろうっていうところも正直疑問なんですよね。今建てないと正直これからどんどん建築費が上がっていく中で、もしかすると増築、改築ですら行えないような状況っていうのが来るかと思うんですよ。これからどんどん上がっていく値段で、満足のいく学校っていうのも建てられるのかっていうところですよ。時間が経てば経つほど、どんどん建築費も上がって、増改築にしてもそこまで満足にできるのかなっていうのが正直疑問としてありました。

あと干潟中と二中とかですね、増改築して使うっていう案もあるんでしょうけども、正直私としては、古い施設、今ある施設っていうのを騙しだまし少しずつ修復しながら使っていくのであれば、もう新しいものを建ててもいいのかなと正直思ってます。

あとは交通環境ですね。干潟中も正直朝になるとかなり混雑するような状況で、例えばそれを増改築するってなると、二中も一緒ですけど、多分40、50億ぐらいの想定があったと思うんですけども、干潟中に関してはおそらく道路改良とかもしていかないと多分立ち行かなくなる。人数がどんどん減ってく中で微妙ではあるんですけど、少なくとも今の段階では車が送迎がありきっていうことを考えると、付近の交通環境に影響を及ぼしていくんじゃない

いかなっていうのもあります。二中に関しては私この間ちょっと近くまで行って見たんですけど、やっぱり道が細いし、敷地も限られてるってということで、そういった施設を将来何十年にかけて増改築していくことで、残すメリットっていうのはあるのかどうかっていうのがちょっと疑問にありました。

正直新しい学校っていうのを作るってというのは、長い目で見たときにすごい希望にはなるんですよね。旭市から再編案の冊子をいただいて、最終的には施設を少しずつ減らして、中学校に関しても最終的には小中一貫っていうのも考えてるっていうのも見ましたんで、そうやって考えると、長い目で見ると決して無駄になるものではないのかなとは思いますが。

私の意見としてはそういうところですよ。別にそれで意見をまた取り直しましょうよっていうわけじゃないんですけど、やっぱり新しいものを作りたいっていう意見が少なからずあったのであれば、そこら辺も踏まえて考えたときに、もう今以上にお金をかけられるときってしばらくはこないんじゃないのかなって思うんですよね。なので、あくまで私1人の意見ですけど、それをどう捉えていただくかは皆さんにお任せしますが、そういうのもすごいまだ正直捨てきれずにいます。

- 委員 萬歳、中和、古城が近いうち統合になりまして、先生方の配置の関係で、やむなく自分の通ってた小学校が、名前がなくなる親御さんの心情とかも踏まえて、一番早期にお願いしたいのは、早く統合して、2036年じゃなくて2031年のほうが私はいいと思います。これから2031年に統合されたその中学校の親御さんも、自分が通ってた小学校がなくなったから、名前が変わっても、子供が少なくなっても、子供に負担をかけるのが少なくなるように、早めに統合してやっていただければなと切に思います。

- 委員 パターンとしてはAがいいかなとは思ってたんですが、これ2036年頃ということになりますので、2036年ですと干潟中が今の段階で64人の予想になってますので、2031年ですとまだ100名ぐらい生徒がいる予定ですので、それを考えるとDの2校っていうのがいいのかなってというような気持ちでいます。

あと、例えばこれ、この会議でこのパターンどうですかっていう話で方向性が決まったときに、例えばこのAでいきましょうってなったときにですね、③の海上、三川、飯岡の人たちが、それはちょっと困るとなったりとか、もしAパターンだったときには、ここには居ない干潟とか豊畑の方々が関係してくるので、この会でどこまで意思統一して、でも他の地区もあるので、そのあたりが今後どう進んでいくのかなっていうのはちょっと疑問に思ってるそこではあるんですけどもよろしくお願いします。

○委員　やはり北中学校を考えるとこのメンバーで多分よかったですけど、今もう全然違う話になってきてるので、多分人選というかメンバーをもうちょっと入れ替えるとか、それか、こっちの方向性が先に出るか、どっちかかなと思っています。県内のほうを見ている、大体、今学区ありきの話が多いんですけども、学区の編成をしながら統合していくところが多いように感じています。あと、文部科学省のほうも中学校の適正規模ってということで、大体350人から800人ぐらい、12学級から18学級という数字を規模的には出しています。350ぐらいっていうのは確かにいい数だっていうのもありますし、大体全校で300人くらいいけば、各学年3クラスぐらいで、中学校としては本当はね、偶数のほうがいいのかもしいですけど、でも3クラスぐらいあると、それなりに活気があって5教科もやっていけるかなっていうふうに感じています。なので、どのパターンというよりも、まだいろんな組み合わせもあるし、さっきのバスの話も必要かなとか、いろんな意見もありますので、そういう意見を1つずつまとめていって、新たなパターンが出てきてもいいのかなっていうふうに感じています。

○委員　最初基本方針のところではB案のようなもので進んでいたものが、反対ということになってしまったので、自然と残された選択肢はもうC案に近い形、大体この生徒数の推計通りに近い数字になるしかないのかなというふうに思っていたところ、今回D案とか、あと新設ではなく干潟中の建て替えというやり方でのB案っていうのも、こんなのもあり得るのかというふうに、そうなんだというふうに思っているところです。

その上で、このAのような、よその地域のところでまた基本方針を崩すような、要望なり意見とかを進めるのは現実的にあり得るのかなと。先ほどお話のあったような中央小が一中のほうに行くとか、かなり大きく崩すような、現実的に可能なんだろうかと。であればもう少しちょっと、この中でどれが一番まだいいのかなというような発想しかなかったところが、ちょっと違う考えも出てくるのかなというふうに思っていて、現実的にあり得るのであれば、もっと違うものがあるなら次回見てみたいというふうに思っているところです。

○委員　私の意見としましては、やはり新築ではなく、今ある中学校を活用していければいいと思いました。

○委員　結論から言うと、先ほどお話のあった一中と二中の利用に賛成です。ただ、やはり新しいものありきでお話した経緯があるんですが、たまたま私成田に勤めてて、成田から帰ってきますと、干潟中がとても環境が良くて、干潟中をなくしたら干潟地区が暗くなっちゃって、海沿いの町中心みたいな構成になるのが非常に残念です。これは議事録に残るわけで

すから、一言それを言いたい。そして国家プロジェクトが成田空港が今の何倍になって、旭地区が考えられないような構想が国家プロジェクトなんです。それが一番近くで、入口だっているのが干潟中学校でしょ。干潟地区が私はこれから絶好のチャンスなんじゃないかな。それを節約ありき、そして町中心ありきだとか生徒ありきっていうよりも、もっと未来像を持ったね、学校というものがいかに大事かっていうことが、地域の重要性をもう少し議論が継続していったらいいなと皆さんの意見を聞いてました。

先ほど新築がまだ捨てきれないと、私も心の中では捨て切れませんよ。やっぱりドーンと金かけるときは金かけてもらって、我々がどうこうじゃないレベルの高い人たちが、もっと市を良くしようっていう、そういう姿勢が旭には欲しいな。旭市はまだそういう力があるのに、後退気味の話ばかりで終わるってのが非常に残念ですから、もっともっと議論を重ねて、新しい時代、そしてもっと発展性がある、そしてその中の一番重要性はこの学校なんだっていうことを議論し続けたいですね。

○委員 さっき申し上げましたが、最初に3校でそのうち2校に絞ったらどうかっていう、既存校を利用してっていうものの根底は、何回か会議をしてきた中で、校長先生方の意見として、確か700人ぐらいだとまだちょっと多くて学校運営が厳しいというようなご意見を会議の中で2回も3回もいただきました。それで基本的な考えとして、まずは3校っていうような発想をしたわけです。何回も申し上げてますけど、私も随分前ですけど、市の職員として学校を建てたり、また都市計画でまちづくりとか携わってきた中で、委員がおっしゃられたように、今やっちゃわないと多分建たないんじゃないかなっていうことも当然考えていますけども、今でもできないんじゃないかなっていうふうにも考えていて、やってきた人間としてそういうふうにも考えているので、今のところそういう考えになっています。

それともう1つバスにお金をかけるっていうのは、多分我々が想像している以上にすごい浪費なんですね。学校を建てるお金がバス代に消えていっちゃうっていうような感じになるんですけども、これも時代背景で、今度は行政はそこへお金をかけていかざるを得ないのが、今の時代かなというふうにも考えているので、バスについては基本的には前向きに私は考えております。

委員さんの意見で海上中へ行っちゃうかっていうのは、これは私が3校で中央小に一中に行ってもらえばっていうのと結論は同じようなことなんですよ。要は500人っていう枠で考えてきましたので、五、六百人という枠で考えてきましたので、飯岡と海上がまとまらなくても、干潟中だけ海上に行っちゃえばっていうようなことも、ちょっとお話を聞きながら

想像できちゃったんですけども、いろんな話を聞かせていただいて、私も何か頑固にこうだとかいうのは特にないんですけど、思いついたことを話させてもらってるんですけど、やっぱり本来はね、干潟地区のまちづくりを進めていく中で、もし学校がなくなっても学校に代わる何かがあって、にぎわいをつくれるようなまちづくりをしていくというのが本当の行政の仕事だと思ってるんです。ですけど我々今そこまでのお話をすべき場所でもないし立場でもないの、あえてそういったことには踏み込みませんが、まさしく委員さんおっしゃったことが、すべての基本だと思うんです。その中で子供たちがどうやって、これも前向きな話なんですけど、スタートはもうやっていけないからどうにかしようっていう話なので、理想論ではやっぱり結論は出ないので、現実を見た中で、少しでも子供たちにいいようにっていうふうなつもりで私も発言してるつもりなんですけども、そういったことで、特に今、何か言い訳してるようになっちゃいましたけど、一応そういう考えでおりますので、今後ともよろしく願いいたします。

○委員 自分はまだ基本方針がいいかなと思っっています。ただ反対意見が多かったので少し修正は必要かなと思っってます。修正は主に2つ、お金がかかりすぎるよっていうことと、あとその学区どうすんのっていう話だと思うんですけど、その学区どうすんのかなみたいな話は、この学校選択制っていうのを選択すれば、自由にしていよいよみたいな形にすれば、解決するのかなと思っっています。あとお金がかかりすぎるような話ですけど、もう1つ大きなパターンがあると思っっていて、それ何もしないってやつなんですけど、これ何もしないと、ボロボロの校舎を何校も維持する、これ結構お金かかると思っますよね。なのでやっぱり何かしなきゃいけないよっていうときにやっぱり新しく建てちゃって、人数どんどん少なくなっていくって、2校になりますよ1校になりますよって、それも対応できると思っますよね、新しい学校があれば。耐用年数も多分80年ぐらいあるんですかね、鉄筋コンクリートで作ると。長い目で見ても、初期費用こそかかるものの、ランニングコストっていうのを加味すると、最終的にそんなに変わらない、もしくはちょっと安くなるんじゃないかなというふうに思っっています。

あとちょっと1つ提案なんですけど、可能かどうかわからないんですけど、例えば新しく学校を作るところに、老人ホームとかスーパーとか保育園とか、そういった民間の施設を入れる、官民一体になって作るっていうようなまちづくりして、民間資本をちょっと入れるよみたいなことで、節約できないのかなっていうのは1つ思っました。

皆さんの意見いろいろ聞いて、いろんな意見をまとめると、結果基本方針に落ち着くんじ

やないかなってお話を聞いていて思いました。結構賛成の方も多かったですし、一番その解決に向かうのが基本方針なのかなというふうに今思っています。スピードも多分基本方針で進めていったほうが早いと思うんですよ。今日ここにいらっしゃらない方が、この話し合いに反対の、この話し合いに納得いかない方たちなのかなというのをちょっと思っていて、埒が明かないと思われてる方もいるんじゃないかなというふうに感じています。また1から話を作り直すというのはすごく労力のかかることですし、一旦進んだものをまた白紙にしてやり直すというのは、ちょっと自分は気が進まない思いであります。なので基本方針に少し修正を加えるという形で進めていきたいというふうに自分は思っています。

○委員　ここに来る前は前回の資料を見て、やっぱりスピードが早いほうがいいとか、いろいろ見たりして新設でもいいのかなと思ったんですけども、4パターンの資料を見させていただいて、最初に生徒数のバランス、Aプランですね、人数的にはこれがバランスがいいのかなと思ったんですけども、2036年頃ということで結構時間がかかるってということで、そのあとはこのCプラン、Dプランがいいのかなというので、Dプランが2031年頃、年数的には早い、これがいいのかなというのは思ったんですけど。Cプランがですね、これ周辺環境の渋滞とかがあるってということで、干潟のほうの知ってる方とお話したときに、二中はあんな狭いところに行くのみたいな話で、ちょっと冗談話もあるんですけども、私も二中が母校なんですけども、それに慣れてしまってる部分ではあるんですけども、他の地域からすると、道路が狭いとか、いろいろあるのかなと思いました。それでいきますと、この海上中周辺は土地がありますので、そのあたりは海上中のほうがいいのかなって思いました。

あとスクールバスなんですけども、私香取市で接客業をしてるんですけども、小学校がスクールバスを出してまして、親目線からすると、夕方何時にこのバス停に帰ってくるっていうのがわかりやすいので、迎えに行ったりするのも、時間がわかってるから安心だっていう話はいただいています。

あと、先ほど出ました選択制ですね、選択制はいいのかなと思いました。あと中央小なんですけども、これがやっぱり中央小イコール二中というイメージが昔からあるんですけども、私も全く考えてなかったんですけども、中央小が一中に行ったパターンっていうのも、今度見てみたいなと思いました。でも中央小の方がほとんど人数が多いと思うので、一中に行くっていうのを結構反対される方が多いのかなとは思いました。私の知人も二中のすぐ近所に住んでるんですけども、いろいろ事情があって、一中に行っていた方もいらっしゃったんですけども、全体的に見ると、やっぱりどうしても中央小が配置する学校は人数が大きくなるの

かなと思いました。

○委員 皆さんのいろいろな意見を聞いて、ちょっとまとまなくなっちゃったなと思って。前回スピード感を持った検討をして欲しいだとか、干潟中の早期統合っていうことを考えたときに、もう新築は、私はいいかなと思ったんですけど、とりあえず建てるにしても、干潟中のその救済措置というか、一旦2校でやってみたらどうかなと私は思います。人数とかそういうところも踏まえての意見なんですけども、とりあえずその2校でやってみたらどうかなと思いました。

○副会長 私の意見を言わせていただきます。私は基本的に中学生にはお金をかけたほうがいいとは思っています。私干潟中出身なんですけども、私がいたときのテニス場がなくなっていたり、プールがなくなっていたりして、子供が部活入ったときに選択肢がなかったんですよ。そういうことで人数が足りないから部活の選択肢がないというのが気になってました。

この方向性パターンで言うと、私もDで海上中に統合して、統合した暁には運動ですね、運動に限らずですけど、部活に関する施設を増設して、いろんな部活ができるような人数と、そういう設備と、設備がないと何も始まらないので、そういうのをしっかり整えて欲しいと思いました。これからやる体育祭なんかも、部活対抗のリレーとか結構盛り上がるんですよ。だからそういうのを子供たちにも経験してもらって、学校生活を送ってくれたらなというふうな意見があります。

とりあえずこの会議で皆さん1つずつ意見を伺いましたけども、これを職員の方に資料を次回出していただいて進めたいと思います。

それでは結構遅くなってしまいましたので、今回の会議は閉じさせていただきます。

5 その他

○事務局 それでは最後に次第の5、その他ということで、事務局より事務連絡をさせていただきます。

○事務局 (事務連絡)

6 閉会

○事務局 長時間にわたり本日の会議ありがとうございました。

これにて第4回代表者会議を閉会にさせていただきます。

【閉会：午後8時15分】